

令和4年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	4903	領域略称名	共創言語進化
研究領域名	共創的コミュニケーションのための言語進化学		
領域代表者名 (所属等)	岡ノ谷 一夫 (東京大学・大学院総合文化研究科・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、言語の起源と進化のメカニズムを解明し、その知見を活かしてコミュニケーションの未来と人類の存続のあり方を提言することで「共創言語進化学」を創成しようとする意欲的な研究であり、重要な研究成果も多数得られていることから当初の期待どおりの成果が上げられたと評価できる。特に、言語の進化を「階層性」と「意図共有」というシンプルな因子で説明できるという仮説に対して、多様な研究領域を融合して活発な共同研究を進めることで、動物行動からの検証、考古遺物からの道具と言語発達の比較など多岐にわたる手法やデータに基づいて検証した点は高く評価できる。

一方で、本研究領域で得られた知見に基づく社会への提言に関しては、十分な根拠を示すまでには至っていない。とりわけ、ヒトと他の動物との関連付けについて一層の検討が望まれる。今後は本研究領域で得られた研究成果を更に整理し、学理として構築するとともに、個々の言語の分析や、音韻体系の分類などの研究に結びつけることで大きな体系に発展することが期待される。